

中間検査チェックシート C6表(組積造)

※工事監理者は、太枠内のみ記入すること

検査項目	照 合 内 容		工事監理者	検 査 記 録		
				A : 目視検査 B : 実測検査 C : 監理者報告	結果	修正
1 全体形状及び 部材の配置	ア	建築物の平面形状		A : B : C	適・否	
	イ	壁の配置		A : B : C	適・否	
2 施工一般	ア	使用材料の水洗い		A : B : C	適・否	
	イ	モルタルの配合		A : B : C	適・否	
	ウ	目地の形状(芋目地としない)		A : B : C	適・否	
3 壁	ア	壁の長さ		A : B : C	適・否	
	イ	外壁の厚さ		A : B : C	適・否	
	ウ	間仕切壁の厚さ		A : B : C	適・否	
4 臥梁・床版	ア	臥梁の形状、寸法		A : B : C	適・否	
	イ	鉄筋の径、本数、配置等		A : B : C	適・否	
	ウ	鉄筋の継手位置、定着長さ		A : B : C	適・否	
	エ	鉄筋のかぶり厚		A : B : C	適・否	
5 開口部	ア	開口部幅の総和		A : B : C	適・否	
	イ	各階の開口部幅の総和		A : B : C	適・否	
	ウ	上下開口部間の垂直距離		A : B : C	適・否	
	エ	開口部相互間又は開口部と対隣壁の垂直距離		A : B : C	適・否	
	オ	まぐさの設置		A : B : C	適・否	
6 補強等	ア	壁に設けるみぞの深さ、長さ		A : B : C	適・否	
	イ	鉄骨軸組との緊結		A : B : C	適・否	
	ウ	手すり壁頂部の臥梁の設置		A : B : C	適・否	
	エ	H12 建告第 1354 号による補強		A : B : C	適・否	
7 その他	ア	型枠内の清掃状況		A : B : C	適・否	
	イ			A : B : C	適・否	
	ウ			A : B : C	適・否	
	エ			A : B : C	適・否	

※ 工事監理者は、工事監理者欄に検査結果の適否を記入し、中間検査申請書と同時に提出すること。
 なお、否となった事項については、それに対する措置等を下記に記入すること。

工事監理者への 指摘事項等	中間検査	合格・不合格・合格保留	後続工程	可・不可	工事監理者名(検査立会者)

